

明光電子

明光電子は、約30万点の電子デバイスの取り扱いに加え、各種技術サポート、購買代行、受託製造サービスなども手がけるエレクトロニクス系の統合商社として、国内製造業のサポートに力を注ぐ。十川正明社長は「世界トップクラスの日本の電子技術者にパートナーとして頼りにされる唯一」と語る。

特に震災後は、サプライチェーンの寸断による品不足が続く中、世界中に構築した同社の幅広いネットワークを活用した調達力が威力を発揮し、多くの顧客を助けたという。

製造業に「開発促進業」提案

同社が特に注力しているのが、開発促進業の提案。新製品の開発段階から相談に応じ、部品の選定、技術サポート、製造、検査までを「早いレスポンス」「広

いネットワーク」「深いサポート」で実践している。プログラマブルデバイス設計など充実した技術サポート体制を敷き、購買・在庫管理代行サービスも提供。すでに5社以上の顧客から部品調達管理を請け負っており、「一部の顧客で

新規市場、新技術へ積極的に取り組む同社。LED照明関連ビジネスは、ローコストで実現している。照明関連ビジネスは、ローコストで実現している。照明関連ビジネスは、ローコストで実現している。

を中心に受注を拡大。「13年はデジタル無線応用機器など近年、種まきを続けてきた分野での成果が多く得られる見込み」という。

将来に向け、各種プログラマブルデバイスへの取り組みも強化。すでに多くの実績があるFPGAなどの



十川 社長

「早いレスポンス」「広

いネットワーク」「深いサポート」で実践している。

を中心に受注を拡大。「13年はデジタル無線応用機器など近年、種まきを続けてきた分野での成果が多く得られる見込み」という。

将来に向け、各種プログラマブルデバイスへの取り組みも強化。すでに多くの実績があるFPGAなどの